



長岡京芸術劇場

京都府地域における舞台芸術振興・次世代体験推進事業

レ・フレイール

Les Frères Special Concert

スペシャルコンサート

京都フィルハーモニー室内合奏団と共に



指揮
井村誠貴

1²⁰¹⁸
/ 14^{SUN}

〔チケット発売日〕 10月13日(金)

{ 入 場 料 } [全席指定]

S席 3,000円 **A席** 2,000円 (当日はプラス500円)

※この公演は、京都府からの助成を受けて実施するもので入場料金が低額に設定されております。
※未就学児の入場はご遠慮下さい。

14:00 開演 (13:30 開場)

{ 会 場 } 京都府長岡京記念文化会館

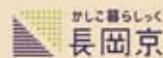
■阪急「長岡天神」駅 西口より徒歩6分
■JR「長岡京」駅 西口よりバスで7分「開田」または「文化センター前」下車


beyond
2020

京都文化力

| 主 催 | 長岡京芸術劇場実行委員会・公益財団法人 京都府長岡京記念文化事業団 | 共 催 | 長岡京市・長岡京市教育委員会 | 後 援 | 長岡中央商店街振興組合・エフエム京都
| 協 賛 | 株式会社 村田製作所・株式会社 樺本チエイン | 企画制作 | 一般社団法人 達人の館 | 制作協力 | ボラリス・アルファ合同会社

お問合せ ▶ 長岡京芸術劇場実行委員会事務局 tel.075-955-5711



レ・フレール

斎藤守也(さいとうもりや・兄)と斎藤圭土(さいとうけいと・弟)の兄弟によるピアノデュオ。兄弟ともに15歳よりルクセンブルク国立音楽学校に留学。ガーリー・ミュラー氏に師事し、クラシックピアノを学ぶ。

コンポーザー・ピアニストとしてオリジナル楽曲の制作とライブを両軸に活動。故中村とうよう氏(音楽評論家)に「斎藤守也・圭土の音楽は、いま世間一般に流通するどの音楽ともまったく似ていない。『芸術新潮』2008年11月号」と評された独創的な楽曲とピアノプレイスタイル「キャトルマンスタイル」を兄弟二人で確立。2本の手では成し得ない演奏法を4本で探りながらできた、そのプレイスタイルは他に類をみない。2002年9月3日、出身地である横須賀のライブハウスにおいて「レ・フレール(フランス語で「兄弟」を意味する)」として活動を開始すると、その斬新かつ繊細なプレイスタイル(1台4手連弾)、交響曲や器楽セッションを想起させるオリジナル楽曲、そしてライブパフォーマンスにより瞬間に日本全国で「ピアノ革命」と話題となる。

2006年11月8日にリリースしたメジャーデビュー作『PIANO BREAKER / ピアノ・ブレイカー』(Universal Music)はオリコンウィークリーチャートにおいてピアニストデビュー作歴代最高位を塗り替え、史上初のTOP20入りを果たし、さらにゴールドディスクを獲得。これまでに、アクセル・ツヴィンゲンベルガー(Pf)、ハンク・ジョーンズ(Pf)、池宮正信(Pf)、大江千里(Pf)など共演、海外アーティストとのセッションをはじめ、オリジナル楽曲をベースとしてオーケストラやソロアーティストとの融合を行うなど独自のアプローチで「連弾」を追求している。

楽曲制作・提供では、テレビCM(ハウス食品「ソイチップス」「フルーチェ」・ハウスウェルネスフーズ「C1000レモンウォーター」・八木木材産業「エピソード・ロングライフ」・YOUテレビ他)、舞台(宝塚歌劇作品『オネーギン』他)、映画(『4分間のピアニスト』2007年ドイツアカデミー賞受賞作品イメージ楽曲)、テレビ番組(TBS「はなまるマーケット」エンディングテーマ)、

JAL・ANAの機内放送に採用されるなど多方面にわたり、各業界からの支持も厚い。

ジャンルを問わず、あらゆる年齢層を惹き付け、聴く人の魂を揺さぶる熱いオリジナルサウンドは着実に評価を高め、フランス・ベルギー・韓国でもメジャーデビュー(Universal Music)を果たし、ヨーロッパ各国・韓国・オーストラリアの主要都市などでツアーを開催。ピアノ一台で世界各国の聴衆を熱狂の渦に巻き込んでいる。2012年11月21日には結成10周年を記念したライブ盤『Best of Live』(Universal Music)、2013年3月20日に『レ・フレール管弦楽団』(Universal Music)をリリース。これは2012年12月に「ニューヨーク・シンフォニック・アンサンブル(指揮:高原守)」を招聘して行われた共演公演「レ・フレール管弦楽団」のライブ録音で、レ・フレール楽曲の新たな魅力を凝縮した特筆すべき1枚となった。2013年8月21日には斎藤圭土が「音楽家たち」(Universal Music)、同年11月6日には斎藤守也が『旅』(Universal Music)をリリース。これらは彼らそれぞれの楽曲をピアノ連弾以外のアレンジで収録、「コンポーザー・斎藤守也」、「コンポーザー・斎藤圭土」として発信したものである。

2014年9月3日にはレ・フレールとして4枚目となるオリジナルアルバム『4-Quatre』(Universal Music)をリリース。天野喜孝氏が描きおろした「キャトルマン」がジャケットを飾った。2016年1月より新タイトルツアー「Les Frères Anthology」を全国で展開、2016年9月2日にはメジャーデビュー10周年を記念した『レ・フレール THE BEST』(Universal Music)をリリース。結成時から続けている保育園や幼稚園での演奏活動や、災害復興を機にプロジェクト化した「こどもたちへの音楽支援活動」を全国各地で行うなど、次世代のこどもたちへの芸術文化発展にも大きな力を注ぎ、「レ・フレール」という唯一無二の音楽ジャンルを形成しながら世界に向けて発信し続けている。

指揮 井村誠貴

オペラ指揮者。レパートリーも50演目を超え、2001年には年間オペラ公演回数が日本人では第4位に入るなど、その地位を確立している。

2001年にはイタリアに留学。近年はミュージカルにも活動の場を広げ、1999年から「ラ・カージュ・オ・フォル」を皮切りに、「マイ・フェアレディ」「レ・ミゼラブル」(いずれも東宝ミュージカル)のロングラン公演を成功させる。また、岩崎宏美や今陽子、夏川りみといった実力派シンガーとの共演も多く、幅広いジャンルで活躍。

京都フィルハーモニー室内合奏団 (管弦楽)

1972年結成、創立45周年を迎える。一人一人がソリストの個性派揃いの合奏団。定期公演のほか各地ホールでのコンサート・テレビ・ラジオ等に出演し、「クオリティは高く、ステージは楽しく」をモットーに活動。クラシックの他に色々なジャンルの音楽もセンスある編曲を施してお届けしている。内外の演奏家との共演を行う一方俳優、狂言師、タレント、落語家等の異分野の方々と共演も多く好評を博している。

2000年よりNPO(特定非営利活動法人)となる。平成2年度藤堂音楽賞受賞。平成14年度京都新聞大賞文化芸術賞受賞。2002年10月イタリア公演を実施し好評を博す。

2014年より、音楽監督に指揮者の齊藤一郎氏を迎え、個性溢れる室内オーケストラを目指している。

〔チケット発売日〕 10月13日(金)

〔入場料〕〔全席指定〕 S席 3,000円 A席 2,000円 (当日はプラス500円)

※この公演は、京都府からの助成を受けて実施するもので入場料金が低額に設定されております。 ※未就学児の入場はご遠慮下さい。

〔チケット取扱〕・京都府長岡京記念文化会館 tel.075-955-5711
・電子チケットぴあ tel.0570-02-9999 Pコード:340-171
・長岡京市/向日市/大山崎町契約販売店
・一般社団法人 達人の館 tel.075-874-5931

1²⁰¹⁸
/ 14^{SUN}

14:00 開演 (13:30 開場) {会場} 京都府長岡京記念文化会館

〒617-0824 京都府長岡京市天神4-1-1

■阪急「長岡天神」駅 西口より徒歩6分

■JR「長岡京」駅 西口よりバスで7分「開田」または「文化センター前」下車

達人の館オフィシャルブログ <http://tatujinnoyakata.com/>


beyond
2020

京都文化力